

# 2017-2018 年度 地区補助金事業報告

## 下関中央ロータリークラブ

山口県立下関総合支援学校校長によると、言葉から得られる情報のみの学習では理解できなくとも、映像を伴った情報（視覚支援）があれば理解できる生徒がたくさんいるが、限られた予算の中で十分な設備を整えるのは難しいとのことだった。よって、プロジェクター・スクリーン各2台を寄贈することを計画。

また、併せて高等部を卒業する学生に向けての就労支援として、現場実習（職場実習）を行う機会を持ちたいとの希望があったため、ロータリー会員企業を含む協力企業への現場実習の機会を提供することへの支援を計画。地区補助金を申請し、採用された。

### プロジェクト名

山口県立下関総合支援学校へプロジェクター・スクリーン各2台を寄贈する  
山口県立下関総合支援学校高等部生徒に対して就労支援する  
下関市民に対して山口県立下関総合支援学校とロータリー活動を紹介する



### 総合支援学校に

### プロジェクターとスクリーンを贈る

#### 下関中央R.C

下関中央ロータリークラブは1日、富任町の下関総合支援学校（河井正敏校長、215人）にプロジェクター1と100寸のスクリーンをそれぞれ2台寄贈した。

贈呈式が始業式に合わせてあり、同クラブの坂田安章会長が河井校長に目録を手渡した。児童・生徒を代表して、高等部3年で児童生徒会長の原田大輝さんが「頂いたプロジェクターとスクリーンを使って学習や活動がより充実したものになると思う。これからも元気に学校生活を頑張る」と感謝した。



贈呈式の後、プロジェクターとスクリーンを使って同クラブの活動内容などを紹介した。坂田会長は「言葉だけでは理解できない子どももいると聞いたので、目から入る情報から日々の学習を深めてもらえれば」と話した。

河井正敏校長（手前）  
に寄贈品の目録を手渡す  
坂田安章会長（右）  
日、富任町

9月1日（金）下関総合支援学校にてプロジェクター・スクリーンの贈呈式を行い、ロータリークラブに関するビデオを上映し、説明も行いました。ロータリアン16名参加。